

款	項	目	担当部局・課名		
3	2	6	教育委員会事務局・文化と学びの課		
10	5	1			
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」	
事業名		節名称		予算額 (千円)	
子どもの居場所づくり推進事業 ・放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ) ・放課後子ども教室事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 報酬 (④会計年度任用職員報酬) 放課後児童クラブ	129,250	
			② 職員手当等 (⑬一般職期末手当) 放課後児童クラブ	18,498	
			③ 委託料 (①業務委託料 (物件費)) 放課後児童クラブ	9,800	
			④ 委託料 (①業務委託料 (物件費)) 放課後子ども教室	25,000	
			⑤		
実施計画No,		2			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		182,548	
該当ページ		110-113 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 →	
		188-189 /頁			
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		203,182	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)	203,182	41,833	51,839		93,159
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金	子ども・子育て支援交付金			
	県支出金	子ども・子育て支援交付金 学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金			
	負担金	放課後児童クラブ負担金			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	保護者が就労などにより昼間留守家庭となる小学校児童を対象として、放課後や土曜日・長期休業中に家庭に代わる生活の場として遊びを中心とした活動を行い、児童の健全育成のための放課後児童クラブを運営する。 放課後子ども教室は、放課後児童クラブの実施が困難な10小学校区において、放課後や学校休業日に勉強や地域住民との交流活動等を行い、子どもたちが心豊かで健やかな活動の居場所として運営を住民自治組織等へ委託する。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)】 176,898千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 報酬：会計年度任用職員 主任放課後児童支援員 1人, 放課後児童支援員 (週32時間45分勤務) 43人 放課後児童支援員 (週25時間勤務) 10人 日々雇用 53人 合計 129,250千円 委託料：放課後児童クラブ運営委託料 (中央福祉会) 9,800千円 ※随意契約  <p>【放課後子ども教室事業】 26,284千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託料：放課後子ども教室推進事業運営業務委託料 25,000千円 実施小学校区 (実施団体) 10箇所 全て随意契約 報償費：放課後子ども教室推進事業運営委員会委員謝礼 55千円 放課後子ども教室安全管理員等研修会講師謝礼 62千円 光熱水費：布野放課後子ども教室 (市直営施設) 光熱水費 221千円 ※R4実績より積算 工事請負費：布野放課後子ども教室空調機取替工事 946千円 				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
三次市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の定めによる。 三次市放課後子ども教室推進事業実施要綱の定めによる。					

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育委員会事務局・学校教育課			
事業区分		新規事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名			節名称			予算額 (千円)
校務支援システム活用事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 使用料 (⑥事務機器等借上料)	1,248	
				②		
				③		
				④		
				⑤		
実施計画No,		13				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		1,248	
該当ページ		181 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0
		181 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		1,248
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	1,248					1,248
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	校務支援システムを導入することで、児童生徒に関する情報を一元的に管理することにより、業務の効率化と適正化を図る。また、学校側の業務負担を軽減することで、教育の質の向上や学力向上に向けた取組に時間を費やすことのできる環境を構築する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>使用料 (⑥事務機器等借上料) 1,247,510円</p> <p>校務支援システム33校分 (R6.3~R11.2末 60か月) 総額74,850,600円 月額 1,247,510円</p> <p>内訳 校務支援システムサーバー、バックアップ装置、周辺装置、サーバーソフトウェア、プロジェクト管理費、システム基本設計、帳票・マニュアル作成、ライセンス料、コールセンター費用、研修会、システム年度更新、保守現地対応 等</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果大きい、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名		教育委員会事務局・学校教育課	
10	1	3	事業区分		継続事業 (内容見直し) 第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」	
事業名			節名称			予算額 (千円)
【学校支援員等配置事業】 市費教員・学校支援員 (教育支援員含む)・特別支援教育			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 報償費 (④会計任用職員報酬)	99,730	
				② 職員手当等 (⑬一般職期末手当)	22,735	
				③ 旅費 (①費用弁償)	5,274	
				④ 役務費 (④手数料)	85	
				⑤ 使用料及賃貸料 (⑨その他の使用料及び賃借料)	69	
実施計画No,			14			
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) ➡			127,893
該当ページ			178 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 ➡	
			181 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 ➡	
						127,897
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	127,897	0	0	0	0	127,897
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた指導や支援を行うことで、児童生徒に確かな力を身に付けさせるとに、学習意欲の向上を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	報償費 (④会計任用職員報酬) ・市費教員 8,274,330円 ・学校支援員 (教育支援員含む) 53,002,032円 ・障害児介助指導員 38,452,560円 職員手当等 (⑬一般職期末手当) ・市費教員 1,721,616円 ・学校支援員 (教育支援員含む) 12,134,256円 ・障害児介助指導員 8,878,800円 旅費 (①費用弁償) ・市費教員 782,900円 ・学校支援員 (教育支援員含む) 2,639,124円 ・障害児介助指導員 1,852,200円 役務費 (④手数料) ・学校支援員 70,000円 ・障害児介助指導員 15,000円 使用料及賃貸料 (⑨その他の使用料及び賃借料) ・学校支援員 40,000円 ・障害児介助指導員 29,000円					
別添資料 無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)						
県新規採用教員の増加により、市費教員 (非常勤講師) の人材確保が困難になっていることから、再検討した。三次市会計年度任用職員 (理科支援教員及び外国語指導員) については、複式学級の授業を支援するため、継続して配置する必要がある。発達障害等のある児童生徒や生徒指導上課題のある児童生徒など通常の学級において特別な教育的ニーズや特別な配慮を要する児童生徒に対し、学校支援員や障害児介助指導員を派遣し、より細やかな支援・指導を行っている。特別な支援や配慮を要する児童生徒は、年々増加傾向にあり、教育的ニーズに応えるよう人材確保や支援・指導の質を向上させる必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育委員会事務局・学校教育課			
事業区分		継続事業 (内容見直し)		第 1 節 まちづくりの主役である「ひとつくり」		
事業名			節名称			予算額 (千円)
学力調査実施事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 委託料 (①業務委託料 (物件費))		4,029
				②		
				③		
				④		
				⑤		
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		4,029	
該当ページ		180 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		181 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		4,029	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	4,029			4,000		29
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	個々の学習の定着度を測り、学校における課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 教材制作委託業務小学校 2,577,597円 教材制作委託業務中学校 1,451,112円 小学校 学力到達度検査小学校3年~6年 (国語・社会・算数・理科) 生活・学習意識調査 中学校 学力到達度検査中学校1年~2年 (国語・社会・数学・理科・英語) 生活・学習意識調査					
別添資料 無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
学力向上の状況を測定する客観的な指標を得るために事業の継続が必要である。引き続き、結果を踏まえた改善の取組を充実させていく必要がある。小学校低学年については、単元テスト等で学力の定着を図ることとする。 タブレット端末用ドリルは、保護者負担にする。						

款	項	目	担当部局・課名														
10	1	3	教育委員会事務局・学校教育課														
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」													
事業名			節名称			予算額 (千円)											
外国語指導助手派遣事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 委託料 (①業務委託料 (物件費))		58,998											
				②													
				③													
				④													
				⑤													
実施計画No,		15															
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		58,998												
該当ページ		180 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0												
		181 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		58,998												
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)											
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他												
令和5年度 (予定)	58,998	0	0	0	0	58,998											
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称															
	国庫支出金																
	県支出金																
	負担金																
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	<p>○グローバル化する社会において、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付け、国の違いによる文化・習慣・考え方などの異なりを理解し、国際的な活躍ができる人材を育成していくため、市内の全小・中学校に、民間業務委託により、外国語指導助手 (ALT) を配置し、外国語教育の充実を図る。</p> <p>○全小学校において、小学校第 1 学年からの外国語教育を計画的に実施する。</p>																
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>委託料 (①業務委託料 (物件費)) 58,998,000円</p> <p>外国語指導助手派遣業務委託料 (11人)</p> <table border="0"> <tr> <td>講師人件費</td> <td>48,538,779円</td> </tr> <tr> <td>採用関連費</td> <td>2,145,360円</td> </tr> <tr> <td>研修関連費</td> <td>536,340円</td> </tr> <tr> <td>講師管理費</td> <td>2,145,360円</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td>268,170円</td> </tr> <tr> <td>消費税</td> <td>5,363,401円</td> </tr> </table>					講師人件費	48,538,779円	採用関連費	2,145,360円	研修関連費	536,340円	講師管理費	2,145,360円	研究開発費	268,170円	消費税	5,363,401円
	講師人件費	48,538,779円															
採用関連費	2,145,360円																
研修関連費	536,340円																
講師管理費	2,145,360円																
研究開発費	268,170円																
消費税	5,363,401円																
別添資料 無 (一覧表/図面等)	 <p>令和4年度のイングリッシュキャンプの様子</p>																
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>																	
<p>三次市は、グローバル化する社会で活躍できる人材育成をめざしている。今後も継続して英語教育を充実させ、グローバル人材の育成を図っていく。本事業は、児童・生徒がALTと言葉だけでなく表現やジェスチャーなどを用いて臨機応変に対応する等、豊かなコミュニケーションを通して異なる言語・文化に触れる機会の創出につながっており、主体的にコミュニケーションを図ろうとする外国語教育を推進することができる。</p>																	

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育委員会事務局・学校教育課			
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名			節名称			予算額 (千円)
学校図書館リニューアル事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 需用費 (①消耗品費)	9,100	
				② 委託料 (①業務委託料 (物件費))	2,047	
				③ 備品購入費 (③その他備品購入費)	800	
				④		
				⑤		
実施計画No,		16				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		11,947	
該当ページ		180 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0
		181 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		11,947
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	11,947					11,947
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	学校図書館リニューアル事業として、学校図書の充実、環境整備に取り組むことで、児童生徒の好奇心を増進し、様々な興味・関心に応える魅力的な学校図書館にする。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	需用費 (①消耗品費) 9,100,000円 小中学校33校へ、図書購入費の配当を行う。					
	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 2,046,748円 読書活動推進業務委託として、読書活動推進員を指定校 (8校程度) に定期的に派遣し、学校図書館の運営の改善及び児童生徒・教員による学校図書館の活用の促進を図る。 内訳 給与等 1,581,312円 福利費 18,217円 その他経費 92,000円 管理費 169,152円 消費税 186,067円					
別添資料	令和2年度からこれまで、8校の図書館リニューアルを行ってきた。					
無	令和5年度も2校程度のリニューアルを行う。					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)						
学校図書館リニューアル事業はR5年度で3年目であり、昨年度までに小・中学校で8校の事業を実施してきた。各学校では、学校実態に応じて設定した指標に基づき、児童生徒の不読率の改善を図っている。 また、需用費による図書の購入により、各学校が古くなった図書を廃棄し、新しい本を配置することができた。このことで、児童生徒の読書に対する関心が高まりつつあり、本事業を継続する必要性は高い。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育委員会事務局・学校教育課			
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名			節名称		予算額 (千円)	
【コミュニティ・スクール・地域学校協働活動推進事業】 小中一貫充実事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 報償費 (②講師謝礼)	770	
				② 需用費 (①消耗品費)	1,236	
				③ 需用費 (④印刷製本費)	296	
				④ 使用料及び賃借料 (④自動車借上料)	149	
実施計画No,				16	⑤	
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		2,451	
該当ページ			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		2,451	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	2,451					2,451
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	義務教育 9 年間を一体のものとしてとらえ、同じ中学校区の小中学校がめざす子ども像や教育目標を共有し、全ての子どもの可能性を最大限に伸ばす学校づくり及び地域の特性を中学校区の教育へ生かす小中一貫教育を推進するための事業に要する経費に対し、予算の範囲内で事業費を配当することにより、学校独自の豊かな教育内容の創造及び教育活動を支援し、児童生徒の学習意欲の喚起と学力向上を目的とする。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>報償費 (②講師謝礼) 770,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導方法や学びをつなぐ、小・中合同での研修会への講師謝礼 ・地域学習の講師謝礼 等 <p>需用費 (①消耗品費) 1,236,000円</p> <p>教材・教具用紙代、小中一貫だより用紙代・トナー代 等</p> <p>需用費 (④印刷製本費) 296,000円</p> <p>小中一貫カレンダー 240,000円 研究紀要印刷製本代等 56,000円</p> <p>使用料及び賃借料 (④自動車借上料) 149,000円</p> <p>校外学習のバス、タクシー借上料 149,000円</p>					
別添資料	無 (一覧表/図面等)					
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>						
<p>・小中一貫教育をさらに充実させるため、今年度の取組を検証しつつ、より一層コスト意識を持ち、計画的に執行していく必要がある。</p> <p>・令和5年度は、コミュニティ・スクールの導入により、小中一貫教育もより充実させ、市民に発信していく必要がある。</p>						



款	項	目	担当部局・課名		
10	5	1	教育委員会事務局・文化と学びの課		
事業区分		継続事業 (拡充)		第2節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」	
事業名		節名称		予算額 (千円)	
【コミュニティ・スクール・地域学校協働活動推進事業】 地域学校協働活動推進事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 報償費 (①委員等謝礼)	1,715	
			②		
			③		
			④		
			⑤		
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		1,715	
該当ページ	188 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	189 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		1,715	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)	1,715		1,143		
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金	学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金			
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	地域とともにある学校づくり「コミュニティ・スクール」を市内へ設置するため、地域とともにある学校づくりの一環として、地域学校協働活動推進員を配置する。令和5年度は7名の委嘱を想定。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>・報償費：地域学校協働活動推進員 報償費単価 1,000円/時間 ※単価は学校運営協議会委員年額報酬による。 →学校運営協議会年額報酬6,000円÷年3回協議÷1度の協議2時間想定 財源：学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金 (補助率2/3)</p>				
別添資料	無 (一覧表/図面等)				
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
地域学校協働活動推進事業は、コミュニティ・スクールの市内への設置に伴う事業で、推進員をコミュニティ・スクールを設置する学校区に配置するものです。令和3年度から配置を進めており、令和4年度までに3人を配置しました。令和5年度は推進員7人の配置を予定しています。地域学校協働活動推進員は、教育委員会の施策に協力し、地域住民等と学校との情報共有・連携を図るもので、コミュニティ・スクールを設置するうえで必要不可欠なものです。					

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育委員会事務局・文化と学びの課			
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名			節名称		予算額 (千円)	
高校生地域活動支援事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	900	
				②		
				③		
				④		
				⑤		
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		900	
該当ページ			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		900	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	900					900
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	高校生が取り組む地域振興や地域貢献活動など, 高等学校が行う郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業, 学習活動等を支援することで, 地域に開かれた高等学校を推進する。					
事業の積算根 拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○高校生地域活動支援事業補助金 300千円×3高校 = 900千円 (対象高等学校) ・広島県立三次高等学校 ・広島県立三次青陵高等学校 ・広島県立日彰館高等学校 ○R4申請状況 ・広島県立三次高等学校……申請なし ・広島県立三次青陵高等学校…231,751円 (小学生へのプログラミング教室 199,964円, 足踏み式消毒液スタンド, 飛沫ボード製作・配布事業 31,787円) ・広島県立日彰館高等学校……255,000円 (ようこそ先輩 165,000円, 人・まちづくりボランティア 90,000円) 【3高校申請合計 486,751円】					
別添資料	無					
(一覧表/ 図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
三次市内の高校に通う高校生を対象としており, 三次市高校生地域活動支援事業補助金交付要綱の定めによる。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育委員会事務局・学校教育課			
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名			節名称		予算額 (千円)	
いじめ防止・不登校対策推進事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 報酬 (④会計度任用職員報酬)	11,607	
				② 報償費 (②講師謝礼)	3,187	
				③ 職員手当等 (⑬一般職期末手当)	2,321	
				④ 委託料 (①業務委託料 (物件費))	1,834	
				⑤		
実施計画No,		17				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		18,949	
該当ページ		178 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
		181 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		
				2,199		
				21,148		
歳入に関する項目		予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)		21,148			21,100	48
特定財源内訳		補助金・負担金・交付金等の名称				
		国庫支出金				
		県支出金				
		負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)		①いじめ・不登校の未然防止, 早期発見と初期対応, 不登校児童生徒への社会的自立の取組 (個別の支援計画に基づいた具体的支援・適応指導教室通室) を行政が学校・家庭や地域と連携し取り組む。②「三次市いじめ防止対策基本方針」のもと, いじめ対策の検討や相談窓口等, 今後一層の充実を図る。そのため, 三次市学校支援ネットワークを組織し, 教育相談員, 青少年指導相談員, 地域サポーター, スクールカウンセラー, スクールサポーター等の人的な措置を行うことで, いじめ, 不登校に限らず, 生徒指導上の諸課題等への総合的な対応をする。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		報酬 (④会計度任用職員報酬) 11,606,400円 スクールサポーター報酬 180,000円×12月×1人 = 2,160,000円 教育相談員報酬 131,200円×12月×2人 = 3,148,800円 青少年指導相談員報酬 131,200円×12月×4人 = 6,297,600円 報償費 (②講師謝礼) 3,186,856円 三次市スクールカウンセラー相談業務謝礼 5,000円×6h×1人×47日×2回 = 2,820,000円 教育支援ルームカウンセリング講師謝金 30,556円×2回 = 61,112円, 10,186円×4回 = 40,744円 不登校対策研修会講師謝礼55,000円×1回 = 55,000円 いじめ不登校防止対策巡回指導講師謝礼 35,000円×6回 = 210,000円 職員手当等 (⑬一般職期末手当) 2,321,280円 スクールサポーター期末手当 180,000円×1.2×2×1人 = 432,000円 教育相談員期末手当 131,200円×1.2×2×2人 = 629,760円 青少年指導相談員期末手当 131,200円×1.2×2×4人 = 1,259,520円 委託料 (①業務委託料 (物件費)) 1,833,300円 総合質問紙調査 (小学校) 378円×2,450人×1回 = 926,100円 (中学校) 378円×1,200人×2回 = 907,200円				
別添資料 無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本市の不登校児童生徒数は増加している。今後, 教育支援ルームの対応の充実など, 不登校児童生徒への支援を拡充させる必要がある。また, 今後, より一層の個に応じた支援等を充実させ, 児童生徒が安全安心な学校生活を送ることができる居場所を確保する必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育委員会事務局・学校教育課			
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名			節名称			予算額 (千円)
部活動指導員活用事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 報酬 (④会計年度任用職員報酬)	5,800	
				② 旅費 (①費用弁償)	989	
				③		
				④		
				⑤		
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →			6,789
該当ページ			⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			6,789
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	6,789	0	0	0	0	6,789
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	中学校において、教員に代わり部活動の指導を行う部活動指導員を配置することで、生徒の部活動における技術力の確実な向上と、学校教育活動の一層の充実・教員の「働き方改革」の実現を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	報酬 (④会計年度任用職員報酬) 5,800,000円 2,000円×年260h×1人 = 520,000 1,600円×年300h×11人 = 5,280,000 旅費 (①費用弁償) 988,860円 通勤手当相当 (748,860円) 95円×1人×180日 200円×4人×180日 338円×2人×180日 476円×2人×180日 614円×2人×180日 614円×1人×120日 生徒引率 (240,000円) 20,000円×12人 = 240,000円					
別添資料 無 (一覧表/ 図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
顧問教員が部活動に関わる時間を削減することができた。 どの学校においても、「顧問の負担が軽減されている」という回答が得られている。 部活動の地域移行の推進と重なり、教員の働き方改革、生徒への専門的な指導を行うための重要な取組である。						

款	項	目	担当部局・課名		
10	6	3	教育委員会事務局・学校教育課		
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとつづくり」	
事業名		節名称		予算額 (千円)	
学校給食調理場整備事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 工事請負費 (①工事請負費)	55,114	
			②		
			③		
			④		
			⑤		
実施計画No,		-			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		55,114	
該当ページ		202 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	
		203 /頁			
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		55,114	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)	55,114			55,100	一般財源 (千円) 14
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	児童・生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供することを目的として、令和5年度2学期から稼働予定の(仮称)三次市新学校給食調理場の整備にあたり、工事請負費を増額するもの。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○工事請負費 55,114千円</p> <p>(仮称) 三次市新学校給食調理場 外構工事 令和5年度 12,210千円 (令和4年度までの予算措置額 35,794千円) 工種: 土木工事 舗装工5,000㎡, フェンス工390m, 排水工110m 増額理由: 令和3年12月に設計完了し、工事の発注に向けて、単価見直しをしたところ、資材の高騰、人件費の高騰により、工事費が増額となるため。</p> <p>(仮称) 三次市新学校給食調理場 調整池建設工事 令和5年度 22,904千円 (令和4年度までの予算措置額 94,600千円) 工種: 土木工事 プレキャスト(工場生産)擁壁工66m 増額理由: 調整池建設工事を令和4年11月に発注しようとしたところ、擁壁工で現場打ちの逆T式擁壁を施工する土木型枠職人が不足しており、応札者がなく不調になったことから、プレキャスト(工場生産)擁壁を設置するように設計変更して発注することとし、工事費が増額となるため。</p>				
別添資料 無 (一覧表/図面等)	<p>受配校改修工事 令和5年度 20,000千円 (令和2年12月議会で議決された継続費と同額) 令和5年度施工予定: 三次小, 粟屋小, 八次小, 神杉小, 田幸小, 川地小, 塩町中</p>				
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
R2~R5年度継続費事業 (令和2年度12月補正)					

款	項	目	担当部局・課名		
10	5	5	教育委員会事務局・文化と学びの課		
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」	
事業名		節名称		予算額 (千円)	
子ども文化芸術ふれあい事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	6,133	
			②		
			③		
			④		
			⑤		
実施計画No,		22			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		6,133	
該当ページ		196 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	
		197 /頁			
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		6,133	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)	6,133			6,133	一般財源 (千円) 0
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	<p>子どもたちに芸術文化に触れる機会と発表の場の提供する。</p> <p>令和2年度～令和4年度はコロナ禍にて事業実施が非常に困難であった。今後も状況に即し工夫し事業実施を行い、三次の未来を担う子どもたちが芸術作品への関心を高め、豊かな感性を育む活動をとおして情操を高めることに寄与する。</p>				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>負担金、補助及び交付金：子ども文化芸術ふれあい事業補助金 6,133千円</p> <p>財源：スポーツ・文化みよし夢基金</p> <p>内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 三次きらきらコンサート実行委員会 334千円 音楽に取り組む市内中学生に、日頃の練習の成果を発表する機会を提供するため、中学校の吹奏楽部による演奏会を行う。(令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響から収録により実施。) 三次市小・中学生芸術鑑賞事業実行委員会 5,800千円 三次市の未来を担う子どもたちが芸術作品への関心を高め、芸術を身近なものに感じ、豊かな感性を育む活動の一環として、小・中学校を対象として実施。 <p>詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> 美術館等鑑賞事業 2,000千円 オーケストラ音楽教室、アンサンブル等公演事業 3,800千円 (オーケストラ3回公演) (アンサンブル等7回程度公演) (児童生徒バス移送料等) 				
別添資料 無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
令和2年度以降コロナ禍で実施ができていない音楽教室は、学校がより参加しやすいよう、学校で実施可能な音楽教室を予定している。本事業は、本市がめざす子ども像の育成に向けて、子どもたちが芸術文化に親しむ習慣を身に着け、感動し学び挑戦する学習経験を積み重ねる機会を助成する。また子どもたちが鑑賞、発表等を通じて郷土愛を育むために、たゆまないこの取組が必要である。					

款	項	目	担当部局・課名				
10	5	5	教育委員会事務局・文化と学びの課				
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」			
事業名			節名称			予算額 (千円)	
真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))		7,000	
				②			
				③			
				④			
				⑤			
実施計画No,		23					
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計)		➡	7,000	
該当ページ		196 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入		➡	0
		197 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額		➡	7,000
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和5年度 (予定)	7,000				7,000	0	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金						
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	市内の概ね18歳以下の子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を図るため、スポーツ・文化活動に自主的に取り組む団体に対して、三次市真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金を交付する。						
事業の積算根 拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>子どもを対象とした市内のスポーツ・文化団体または子どもの健全な育成を目的として、スポーツ・文化活動に自主的に取り組む団体等が対象。</p> <p>(1) 団体運営 (2) 指導者育成 (3) 大会等開催 (4) 合宿等実施</p> <p>・負担金、補助及び交付金：真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金 7,000千円</p> <p>申請予定70件×補助上限額100,000円 財源：真田一幸スポーツ・文化子ども育成基金</p> <p>令和3年度実績 令和2年度実績 令和元年度実績 申請件数 54件 申請件数 59件 申請件数 74件</p>						
別添資料 無 (一覧表/ 図面等)							
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)							
スポーツ・文化のクラブ活動やスポーツ少年団, 大会の開催等を支援しており, 市内の子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を目的とする事業を推進するため必要な事業である。							

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	5	教育委員会事務局・文化と学びの課			
事業区分		継続事業 (拡充)		第1節 まちづくりの主役である「ひとつくり」		
事業名			節名称			予算額 (千円)
奥田元宋・小由女美術館リニューアル事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 旅費 (②普通旅費)	305	
				② 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)	7,770	
				③ 工事請負費 (①工事請負費)	189,625	
				④		
				⑤		
実施計画No,		24				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		197,700	
該当ページ		196 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 →		0
		197 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		197,700
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	197,700			197,300	400	
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	中央監視盤及び空調設備については、不具合が生じており、部品の供給についても順次終了していることから、中央監視盤及び空調設備の改修工事を行うもの。令和2年度 LED照明交換工事 (常設展示室) 令和3年度 LED照明交換工事 (企画展示室), 空調設備改修工事基本・実施設計業務 令和4年度 中央監視盤改修工事設計業務, 防犯カメラ改修工事, 空調設備改修工事					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費: リニューアル事業に係る奥田小由女先生との協議等 (6回分) 305千円 ・委託料: 空調設備改修工事監理業務 令和5年度4,800千円 (令和4年度3,300千円) 中央監視盤改修工事監理業務 令和5年度2,970千円 ・工事請負費: 空調設備改修工事 令和5年度180,000千円 (令和4年度120,000千円) 中央監視盤改修工事 令和5年度9,625千円 <p>[空調設備改修工事] 空調設備は美術館にとって最も重要な設備の一つであり、老朽化などから設備改修が課題となっています。空調設備について、修繕等に対応してきましたが、故障も頻発しており、美術館の運営に支障をきたす状態です。昨今の世界情勢から、機器の納期が不透明となっており、機器調達に遅延が生じていることから、令和4年6月補正により早期発注を行い、債務負担行為により令和6年4月までの空調設備改修工事契約を行いました。令和5年度においても継続するものです。(令和6年4月完成予定。)</p> <p>[中央監視盤改修工事] 美術館内の照明を一元管理する中央監視盤についても、故障が頻発しており、美術館の運営に支障をきたす状態です。これまで部分的な修繕のみで、機器更新は行っておらず、経年劣化による不具合が生じています。令和5年度には、空調設備改修工事が行われることから、空調改修工事に併せた中央監視盤改修工事を行うものです。</p>					
別添資料 無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
奥田元宋・小由女美術館については、開館 (平成18年) から15年以上を経過しており、各所更新時期を迎えていることから、計画的かつ継続的な事業を行う必要があるため。						

款	項	目	担当部局・課名		
10	5	4	教育委員会事務局・文化と学びの課		
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」	
事業名		節名称		予算額 (千円)	
史跡寺町廃寺跡整備事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 報償費 (①委員等謝礼)	347	
			② 旅費 (①費用弁償)	135	
			③ 旅費 (②普通旅費)	92	
			④ 需用費 (④印刷製本費)	1,128	
			⑤ 委託料 (①業務委託料 (物件費))	2,426	
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		4,128	
該当ページ		190 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0
		193 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		4,128
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)	4,128	2,064			2,064
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金	史跡等保存活用計画等策定費補助金			
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	【事業内容】 史跡寺町廃寺跡の適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業。(平成29年度からの継続事業) 平成30~令和2年度: 史跡の内容確認を目的とした発掘調査 令和3年度: 整備の基礎資料となる『史跡寺町廃寺跡-推定三谷寺跡第1~8次発掘調査総括報告書-』の刊行 令和4年度~: 「保存活用計画」 (= 史跡の適切な保存と有効的な活用に向けた実施計画) の策定。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費: 学識有識者・地元代表などで構成の三次市保存活用計画策定委員会の委員等謝礼 (年3回) 【内訳】 20,000円×5人×3回 (学識有識者) 7,800円×2人×3回 (市文化財保護委員及び地元代表) 合計: 347千円 ・旅費(①費用弁償): 学識委員の委員会出席に係る費用弁償, 文化庁担当官の出席に係る旅費等 【内訳】 委員 (出雲市) ×3回, 委員 (岡山市) ×3回, 委員 (奈良文化財研究所) ×1回 オブザーバー (文化庁) ×1回, (県文化財課) ×3回 合計: 135千円 ・旅費(②普通旅費): 文化庁協議に係る旅費等 【内訳】 文化庁×2人×1回 合計: 92千円 ・需用費(④印刷製本費): 『史跡寺町廃寺跡保存活用計画書』の印刷製本費 【内訳】 印刷部数: 300部 (市内外の関係機関に配布) 合計: 1,128千円 ・委託料 (①業務委託料(物件費)): 保存活用計画策定に係るコンサル支援業務 合計: 2,426千円 				
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>保存活用計画策定委員会 会議風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>史跡寺町廃寺跡 (現地)</p> </div> </div>				
無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
国指定の史跡寺町廃寺跡について, 適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業である。					
令和4年度から策定中の保存活用計画では, 寺町廃寺跡の現状と課題を捉えた上で, 保存と活用に向けた基本方針・実施計画等を整理する。計画の策定にあたっては, AR・VRといった先端技術の活用を視野に入れながら, 限られた財源の中で幅広い世代の興味・関心をひきつける内容を検討する。					

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	4	教育委員会事務局・文化と学びの課			
事業区分		継続事業 (拡充)		第 2 節 安全で温かみと安心感のある「くらしづくり」		
事業名			節名称		予算額 (千円)	
重要文化財奥家住宅保存修理事業			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費))	2,250	
				②		
				③		
				④		
				⑤		
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		2,250	
該当ページ		192 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
		193 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		2,250	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	2,250					2,250
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	前回の保存修理から約 1 5 年を経過しており、重要文化財の保存と活用を図るため、屋根などの修理をおこなう。					
事業の積算根 拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>本事業は、重要文化財奥家住宅の保存修理事業である。事業主体は、所有者であり、三次市は、所有者への国庫補助金の継ぎ足し補助である。</p> <p>全体事業費 140,000千円 (R5:45,000千円 R6 : 65,000千円 R7 : 30,000千円) 事業計画期間 3年 市補助金 5% (見込み) 7,000千円 (R5:2,250千円 R6 : 3,250千円 R7 : 1,500千円)</p> <p>国庫補助 85% (見込み) 119,000千円 (R5:38,250千円 R6 : 55,250千円 R7 : 25,500千円) 県補助金 5% (見込み) 7,000千円 (R5:2,250千円 R6 : 3,250千円 R7 : 1,500千円) 所有者負担 5% (見込み) 7,000千円 (R5:2,250千円 R6 : 3,250千円 R7 : 1,500千円)</p>					
別添資料 無 (一覧表/ 図面等)	 					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
重要文化財奥家住宅について、適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業である。 所有者の理解と適切な管理により行える事業であり、国民の財産である文化財を次の世代に伝えていくために欠かすことのできない事業である。						

款	項	目	担当部局・課名		
10	1	3	教育委員会事務局・学校教育課		
事業区分		継続事業		第4節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」	
事業名		節名称		予算額 (千円)	
三次版学校ICT活用事業		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 委託料 (③施設機器等管理委託料)	18,264	
			② 使用料及び賃借料 (⑨その他の利用料及び賃借料)	11,116	
			③ 役務費 (①通信運搬費)	1,188	
			④ 需用費 (⑥修繕料)	1,000	
			⑤ 需用費 (①消耗品費)	93	
実施計画No,					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		31,661	
該当ページ	180 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	181 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		31,661	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
令和5年度 (予定)	31,661				31,661
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	タブレット端末を中心としたデジタル機器を効果的に活用した授業づくりを行い、児童生徒の個別最適な学びを進め、学力の向上を図る。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料 (③施設機器等管理委託料) 18,263,905円 GIGA端末運用保守, GIGAネットワーク運用保守 使用料及び賃借料 (⑨その他の利用料及び賃借料) 11,115,060円 GIGAフィルタリングソフト利用料 592,680円×12月=7,112,160円 授業支援アプリ利用料 4,002,900円 役務費 (①通信運搬費) 1,188,000円 GIGA回線利用料 NTT : 3,960円×9回線×12月 = 427,680円 プロバイダ : 7,040円×9回線×12月 = 760,320円 需用費 (⑥修繕料) 1,000,000円 iPad,その他修繕 需用費 (①消耗品費) 92,400円 GIGA消耗品 (ペン・保護シール)				
別添資料 無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
タブレット端末を活用した授業を進めていく上で、各機器の保守やツール等の利用は不可欠である。また、タブレット端末導入から3年が経過し、動作不良等の不具合が生じている。今後、さらに児童生徒の学びを深めていくために、端末の更新や修繕、ネットワーク環境の充実が必要である。					

款	項	目				
10	6	3	担当部局・課名		教育委員会学校教育課	
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名			節名称		予算額 (千円)	
学校給食経費 (新調理場分)			事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 報酬 (③会計年度任用職給)	39,856	
				② 委託料 (①業務委託料 (物件費))	30,082	
				③ 需用費 (⑤光熱水費)	22,537	
				④ 需用費 (②燃料費)	12,891	
				⑤ 報酬 (④会計年度任用職員報酬)	7,039	
実施計画No,		-				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →		112,405	
該当ページ		200,201 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		19,702	
		202,203 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		132,107	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	132,107					132,107
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	令和5年度2学期から稼働予定の(仮称)三次市新学校給食調理場から、児童・生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供するために必要な経費					
事業の積算根 拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	節・細節	金額 (千円)	内容			
	1③非常勤職員報酬	515	運営委員会委員報酬			
	1④会計年度任用職員報酬	7,039	調理員 (パート) ほか報酬			
	2③会計年度任用職給	39,856	調理員 (フルタイム) ほか給与			
	3⑬一般職期末手当	6,706	調理員 (フルタイム) ほか期末手当			
	10①消耗品費	3,268	洗剤, 手袋ほか			
	10②燃料費	12,891	L P Gガス			
	10⑤光熱水費	22,537	電気, 水道, 下水道料金			
	10⑥修繕料	0				
	12①業務委託料 (物件費)					
	・給食運搬業務委託料	29,567	配送業務委託料			
	・調理業務委託料	0				
	12③施設機器等管理委託料	4,059	排水処理設備維持管理, 警備業務委託料ほか			
	14①工事請負費	0				
	17③その他備品購入費	1,000	調理場備品			
	別添資料	18④負担金 (その他)	1,351	公共下水道受益者負担金		
	無	その他	3,318	通勤手当, 電話料金, 検便手数料ほか		
(一覧表/ 図面等)	合計	132,107				

継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)

R 2 ~ R 5 年度継続費事業 (令和2年度12月補正) に基づく新調理場の運用のため

款	項	目	担当部局・課名			
10	6	3	教育委員会学校教育課			
事業区分		継続事業		第1節 まちづくりの主役である「ひとづくり」		
事業名		節名称		予算額 (千円)		
学校給食経費 (新調理場以外)		事業 (経費) 内の主 たる費 目	① 報酬 (③会計年度任用職給)	49,268		
			② 委託料 (①業務委託料 (物件費))	42,200		
			③ 需用費 (⑤光熱水費)	19,257		
			④ 報酬 (④会計年度任用職員報酬)	15,834		
			⑤ 職員手当等 (⑬一般職期末手当)	13,733		
実施計画No,		-				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		140,292		
該当ページ		200,201 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		
		202,203 /頁				
		⑧ (⑥ + ⑦) 事業合計額 →		175,093		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和5年度 (予定)	175,093				17,100	157,993
特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	児童・生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供するために必要な経費 (新調理場分を除く。)					
事業の積算根 拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	節・細節	金額 (千円)	内容			
	1③非常勤職員報酬	371	運営委員会委員報酬			
	1④会計年度任用職員報酬	15,834	調理員 (パート) ほか報酬			
	2③会計年度任用職給	49,268	調理員 (フルタイム) ほか給与			
	3⑬一般職期末手当	13,733	調理員 (フルタイム) ほか期末手当			
	10①消耗品費	6,732	洗剤, 手袋ほか			
	10②燃料費	9,979	L P Gガス, 灯油			
	10⑤光熱水費	19,257	電気, 水道, 下水道料金			
	10⑥修繕料	2,800	故障対応			
	12①業務委託料 (物件費)					
	・給食運搬業務委託料	12,920	配送業務委託料			
	・調理業務委託料	28,069	布野・作木・デリバリー給食			
	12③施設機器等管理委託料	4,961	排水処理設備維持管理, 電気保安管理ほか			
	14①工事請負費	5,000	施設修繕工事, 設備改修工事			
	17③その他備品購入費	0				
	別添資料	18④負担金 (その他)	0			
	無	その他	6,169	通勤手当, 電話料金, 検便手数料ほか		
(一覧表/ 図面等)	合計	175,093				

継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)

児童・生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供するため。